

2025 年度 授業計画(シラバス)

学 科	医療心理科		科 目 区 分	専門分野	授業の方法	講義
科 目 名	精神保健福祉基礎論Ⅱ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (2) 時間(単位)
対 象 学 年	1年		学期及び曜時間	後期	教室名	
担 当 教 員	飯塚 稔	実務経験とその関連資格	法務省さいたま少年鑑別所で心理技官(臨床心理士)として審査・鑑別業務に従事した。			
《授業科目における学習内容》						
臨床心理学及び障害者・障害児心理学について、前期の学習を元にアウトプットをメインに再学習する。						
《成績評価の方法と基準》						
試験素点70% 出席評価点20% 平常評価点10%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
(参考図書) 心とかかわる臨床心理 川瀬正裕 他 ナカニシヤ出版 認定カウンセラー資格試験公式テキスト						
《授業外における学習方法》						
授業で配布されたレジュメや過去問題を、復習としてもう一度清書してください。その際に、十分理解していない部分は自分で調べるひと手間があると、より学習が進みます。						
《履修に当たっての留意点》						
出来るだけ身近な具体例を紹介します。理解できたと思ったときは、ぜひ他の人に説明をしてみてください。 なお、この授業では公認心理師、精神保健福祉士、言語聴覚士、心理学検定等の過去問題にも触れます。						
授業の方法		内 容			使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	精神分析学、精神分析療法について過去問題が解けるようになる		PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	授業ガイダンス 臨床心理学の歴史と成り立ち、フロイトの理論、精神分析療法、関連する過去問題			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	分析心理学、対象関係論、自己心理学等について過去問題が解けるようになる		PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	分析心理学、対象関係論、自己心理学、関連する過去問題			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	ロジャーズとエリクソンの理論について、過去問題が解けるようになる		PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	ロジャーズの人間観、傾聴とカウンセリング、エリクソンの心理社会的発達理論、実存主義、関連する過去問題			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	気分(感情)障害について過去問題が解けるようになる		PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	気分(感情)障害の症状、病因、メカニズム、心理療法、関連する過去問題			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	統合失調症について過去問題が解けるようになる		PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	統合失調症の臨床像、病因、メカニズム、治療法、関連する過去問題			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経発達症(自閉症スペクトラム)と知的障害について過去問題が解けるようになる	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	神経発達症とは何か、自閉症スペクトラムの臨床像、対応法、関連する過去問題		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	神経発達症(学習障害、ADHD)について過去問題が解けるようになる	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	学習障害のタイプ、ADHDのタイプ、各対応法、関連する過去問題		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	不安障害、強迫スペクトラム障害、ストレス関連障害について過去問題が解けるようになる	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	各障害のタイプ、病因、メカニズム、治療法、関連する過去問題		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	解離性障害、心身症について過去問題が解けるようになる	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	解離性障害のタイプと臨床像、拒食と過食、過呼吸、関連する過去問題		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	パーソナリティ障害について過去問題が解けるようになる	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	パーソナリティ障害とは何か、境界性PD、自己愛性PD、関連する過去問題		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	家族の心理や支援について過去問題が解けるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	家族に障害者がいた場合、立場による違い、障害観の違い 等		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	学習理論と行動療法について過去問題が解けるようになる	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	学習理論と心理療法への応用、行動療法の代表的な技法、関連する過去問題		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の区分や歴史、法制度について、説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	障害とは何か、障害観の歴史と変遷、ICFモデルや生物・心理・社会モデル 等		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	障害の受容や合理的配慮について説明できるようになる。	PC プロジェクター スクリーン レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	障害を受容するとはどういうことか、法律における位置づけと合理的配慮 等		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	これまでの授業内容の過去問題を解けるようになる	PC レジュメ	配布資料を通読
		各コマにおける授業予定	総まとめ		